

自然環境科学科の到達目標達成度アンケート

アンケート項目

(全 15 項目で、5 分以内で回答可能です。ご協力よろしくお願ひいたします。回答の場合は、質問項目の終わりにある [] 内に番号を記入してください。)

1. 語学について

(1) 学部の講義や実習および課題研究において用いられる英語や英文の理解度を総合的に考えて、次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. よく理解できた | 2. ある程度理解できた |
| 3. あまり理解できなかった | 4. 全く理解できなかった |

(2) 大学で身につけた語学力が、社会人となった現在の状況で役に立っていますか。次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 十分役に立っている | 2. ある程度役に立っている |
| 3. あまり役に立っていない | 4. 全く役に立っていない |

2. 専門科目について

(3) 専門科目のうち、物理・化学系科目の理解度を総合的に考えて、次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. よく理解できた | 2. ある程度理解できた |
| 3. あまり理解できなかった | 4. 全く理解できなかった |

(4) 専門科目のうち、生物学系科目の理解度を総合的に考えて、次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. よく理解できた | 2. ある程度理解できた |
| 3. あまり理解できなかった | 4. 全く理解できなかった |

(5) 専門科目のうち、地学・気象学系科目の理解度を総合的に考えて、次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. よく理解できた | 2. ある程度理解できた |
| 3. あまり理解できなかった | 4. 全く理解できなかった |

(6) 環境社会学系科目(環境政策論・環境経済システム論)の理解度を総合的に考えて、次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. よく理解できた | 2. ある程度理解できた |
| 3. あまり理解できなかった | 4. 全く理解できなかった |

(7) 環境社会学系科目を履修することにより得られた知識を適用することで、自然環境と社会とのつながりについての理解がどの程度深まったかを考えて、次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 非常に深まった | 2. ある程度深まった |
| 3. あまり深まらなかった | 4. 全く深まらなかった |

(8) 履修した専門科目を通じて、自然環境の中で生じる諸現象を多角的視点から理解し、また解明できる能力が身に着いたと判断できますか。次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. かなり身に付いた | 2. ある程度身に付いた |
| 3. あまり身に付かなかった | 4. 全く身に付かなかった |

3. 分野について

(9) 物理学・化学に関連する知識を適用することで、地球環境に関わる物質の挙動・性質、自然環境におけるエネルギー循環についての理解がどの程度深まったかを考えて、次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 非常に深まった | 2. ある程度深まった |
| 3. あまり深まらなかった | 4. 全く深まらなかった |

(10) 生物学的知識を応用することで、生物の多様性維持の仕組みや、環境に対する生物の適応・進化についての理解がどの程度深まったかを考えて、次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 非常に深まった | 2. ある程度深まった |
| 3. あまり深まらなかった | 4. 全く深まらなかった |

(11) 地球科学に関連する知識を適用することで、地球環境に関わる気圏・水圏・地圏の動態についての理解がどの程度深まったかを考えて、次の中から当てはまるものを一つ選択してください。[]

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 非常に深まった | 2. ある程度深まった |
| 3. あまり深まらなかった | 4. 全く深まらなかった |

4. 総合評価

(1 2) 自然環境科学科で学んだ知識や、卒業するまでに身に付けた能力が、社会人となった現在の状況で役に立っていますか。最も当てはまるものを次の中から一つ選択してください。[]

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 十分役に立っている | 2. ある程度役に立っている |
| 3. あまり役に立っていない | 4. 全く役に立っていない |

(1 3) 上記(1 2)で1.もしくは2.と回答した方にお尋ねします。役に立つ場面にはどのようなものがありますか。最も当てはまるものを次の中から一つ選択してください。[]

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 課題への取り組みと解決 | 2. フィールド調査や実験・研究 |
| 3. プレゼンテーション | 4. その他（具体的に記述してください） |

(1 4) 社会人としての現在から学生時代を振り返ってみた場合、自然環境科学科の教育プログラムで不足していたと感じることがあれば記入してください。
()

(1 5) 自然環境科学科の学生が社会人になるまでに身に付けておくべき能力や知識について、重要と思われるものを自由に記入してください。
()

以上ご協力ありがとうございました。
自然環境科学プログラム長 宮崎勝己